

行事報告書(恋今*組)

報告者:高橋美千代

行事名	児玉さんと行く芦屋の桜めぐり
実施日時	2023年3月30日(木) 9時30分~14時30分 天候:晴れ
行先	夙川~芦屋川間、山側の桜
テーマ	色々な桜を観察しながら、春の一日を楽しむ
参加者	児玉・花島・高橋(博)・中山・樋口・澤井・筒井・米虫・藤本・溝部・石崎・木茂・牛塚・中村(幸)・藤裏沼田・小山・吉田・小西・三仲・高橋(美) 21名

経過・状況



今回の桜めぐりは、去年の5月に児玉さんのご提案でようやく実現となりました。2月の例会の発表会で、児玉さんによる桜観察の報告が予習と言う形となり、期待が膨らんでいきました。開花状況にドキドキでしたが、そんな心配も吹っ飛ばすような快晴と桜満開に、皆さんは桜・桜・桜のシャワーを浴びて幸せそのもの。芦屋の閑静な邸宅や道路に植栽されている植物を、児玉さんの優しい説明でうっとりしながらも、敷地の広さにビックリ。西宮で1999年に自生していると発見された“夙川舞桜”は、ピンク、白、最後は赤と色が変化していくそうです。命名のように花びらがフリルのように舞っているよう見えました。地域のお花見スポットである岩ヶ平公園では満開の桜の下でランドセルを背負って、“前撮り”の子どもたちが走り回って元気いっぱい！入学式には、桜が望めないのではと危惧されたのでしょうか。その姿にほっこりしながら、私有地の中のベニシダレに会いに行く。ベニシダレは見事で、手入れをすればどんなに綺麗かしらと想像しながら、昼食場所の霊園に到着する。満開の桜の下でのんびりとお弁当を食べたあと桜参道を下るのだが、“陽光桜”の濃いピンク色に目が釘付けになる。この花は戦争で亡くした教え子の、鎮魂と平和を祈念して作出されたとの事、霊園の坂の下に植えられていて心にしみるものがあった。予定通り芦屋川駅に無事に到着し、解散となる。そして児玉さんに感謝の意を伝えながら、秋もよろしくとお願いしました。あとのお茶会では、児玉さんを囲んで楽しいひと時を過ごすことができました。メニューにビールもありうれしかったです。皆さま、素敵なお花の時期にまたお会いしましょう！

*** 次回の恋今*組は「新緑の明石城と魚の棚めぐり」を5月に予定しています。**



夙川カトリック教会



住宅街で観察



ウナンオウバイ



岩ヶ平展望台



岩ヶ平公園



夙川舞桜



陽光桜



芦屋霊園で昼食



芦屋ルナホールでお茶会



3月30日(木)開催のMNC「夙川~芦屋川・山手の桜巡り」コースの桜と花木観察

集合：9：30 夙川公民館前

- ①片鉾公園周辺 ソメイヨシノ (満開) ボタイジュ
↓ ウンナングワ (雌木・花) チャンチン (展葉)
- ②夙川緑地・山幹橋 夙川舞桜 (満開) 西宮権現桜 (満開)
↓ コブシの並木 (花)
- ③夙川教会 (教会内見学) 御衣黄桜 (開花) ジュンベリー (満開)
↓ ソメイヨシノ・ヤマザクラ・オオシマザクラ (散り初め)
↓ ウンナンオウバイ (花)、リキュウバイ (花) ヤマグワ (雄花)・・
- ④仲の池緑地公園 ソメイヨシノ、サンシュユ、イスノキ (花) ハナカイドウ (満開)
↓ 古い桜並木 (散り初め) ジュウガツザクラ、ヒメタイサンボク、
- ⑤岩が平公園 ソメイヨシノ 50本 (満開) 大木が多い
↓ ウスギモクセイ (果実)
- ⑥甲南公園 ソメイヨシノ ベニシダレ (満開)
↓
- ⑦岩園隧道展望台 市内・甲山展望
↓ ジュウガツザクラ (花)、コブクザクラ (花) 、クレマチス (花)
- ⑧芦屋市保存林 ヤマザクラ (高木、白花満開)、コバノミツバツツジ (花)
- ⑨ベニシダレ群落 ベニシダレ古木群 30本 満開
↓
- ⑩芦屋霊園前広場 (昼食) ソメイヨシノ 200本満開
- ⑪さくら参道 新・旧 ソメイヨシノ並木 、陽光桜 (満開過ぎ) 並木
↓ ヤドリギ・マツグミ
- ⑫芦屋神社 八重ベニシダレ (満開) シロバナミツバツツジ
↓ 西洋シャクナゲ、シナミザクラ (若い果実)
- ⑬芦屋川・開森橋 芦屋川上流の両岸のソメイヨシノ並木群、城山山腹の山桜
- ⑭阪急芦屋川・14：30解散

以下：サクラ写真集

② *夙川舞桜

西宮市オリジナルの桜。

半八重咲き、花の色は咲き始め薄いピンクであるが、白色に変化する。

夙川緑地公園に最近若木の植栽が増えて来ている。

なお、最大の樹は北山緑化植物園で見られる。



②＊西宮権現桜

本種も西宮市オリジナルの桜。

こちらは花弁は5，舞桜とは逆に、開花時は白色、日がたつに従い紅色に変化する。

以上2種の開花はソメイヨシノのより遅いが、花期は短い。



③ギョイコウ

オオシマザクラを基に生まれた日本原産の栽培品種のサトザクラ群のサクラ。名前は江戸時代中期から見られ、その由来は貴族の衣服の萌黄色に近い。

花弁数は10から15程度の八重咲きで、花弁は肉厚で外側に反り返る。色は白色から淡緑色である。中心部に紅色の条線があり、開花時には目立たないが、次第に中心部から赤みが増してきて（紅変）、散る頃にはかなり赤くなる。また濃緑色の部分の裏側には、ウコンの花にはない気孔も存在する。

*写真は観察日から3日後8分咲き程度、右は開花終期の花の様子。参考画像。



⑤岩ヶ平公園の桜

約50本の大木の桜、「バラ園」と共に地域のお花見スポット。今年は4月1日に地域のお花見大会が開催された。芦屋の姉妹都市モンテベロ（米）との友好を記念する「バラ園」に100株を超える植栽があり、4月末から「花」を楽しませてくれる。



⑦～⑧ ジュウガツザクラ (十月桜)、とコブクザクラ (子福桜)



両者とも春の開花です。今年は冬中花を付けていたので、春の開花数は少ないのではと思っていましたが・・・結構、花が見られました。

⑧ヤマザクラ

満開のトンネルでした。この森の早咲きの品種は3月中旬に開花、既に散っていました。古の人々が、農事を始める時節の目安とし、田の神様の憑代とし崇めたのはこのような桜だったのでしょね (満開が過ぎるころに茶色の葉が展葉して来ます。このような風景が見られるのは短期です。)



⑨ベニシダレ群落

当日前面のベニシダレは満開過ぎ、後方の10本ほどが満開の姿を見せてくれた。全体では古木30本ほど、私有地であり手入れされておらず枯れ枝が目立つ。



⑩芦屋霊園広場

ソメイヨシノを中心に200本の桜の植栽あり、満開のさくらが見られた。ここに至る『サクラ参道』と共に隠れた芦屋のお花見散策スポット。



⑪サクラ参道 陽光桜並木



⑬芦屋川・

開森橋からの風景、芦屋川兩岸の桜は満開でした。バックは城山。

お疲れ様でした！

14:30 無事終了

